

質問順

第536回 令和6年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
1	6	渡辺 葉	(1) 中長期的財政シミュレーションの策定について	① 公共施設等のあり方の検討が進む中、今後の財政難を理由に統廃合を進めざるをえない町の方針と、地域住民のニーズとの乖離が懸念される。行政と住民が共に町の未来にとって最適な選択を検討するために、歳入歳出等における厳しい予測も含む、中長期的財政シミュレーションを策定する考えは。	町長
				② 基金や地方債利活用を含む、公共施設等総合管理計画が推計する2056年までの施設/インフラ維持管理費用の財源試算シミュレーションを策定する考えは。	
				③ 義務教育施設整備基金への積立強化や、新たな公共施設/インフラ等整備基金の設立など、特定目的基金を計画的に活用する考えは。	
				④ 生産年齢人口減少、3世代同居世帯減少や共働き世帯増加による社会保障費増、気候変動による災害増加など、不確定ではあるが財政への影響が予想される要素もシミュレーションに含む考えは。	
		(2) 財政に関する分かりやすい情報発信と開かれた審議の場づくりについて	① 広報紙や住民懇談会等で、中長期的財政シミュレーションや視覚的データや漫画等を活用し、今後も含めた財政状況を分かりやすく伝える考えは。	町長	
			② 包括・中長期的に財政や施設/インフラマネジメントについて行政と住民が共に考える機会を創出するため、町行財政審議会を設置する考えは。		
			③ 未来を担う世代やサイレントマジョリティを含む、多様な年代・性別構成の委員選定方法(公募や無作為抽出など)を検討する考えは。		
(3) 財政シミュレーションや施設/インフラマネジメントにおける増収策について	① 施設/インフラ維持と統廃合の費用比較だけでなく、公民連携も含む有効活用や、少子化対策・観光振興・企業誘致など増収策を同時検討し、総合計画にある「人口減少下でも暮らしやすいまちづくり、地域間競争のなかで選ばれるまちづくりに重点的に投資を行う」考えは。	町長			
2	5	牛山 吉彦	(1) 帰去来荘跡地に関する経緯と町の方針について	① 昨春周辺住民から出された要望書に対する町の対応や意向は。	町長
				② 「住民の切なる要望」と「歴史的・文化的価値の存続」を両立させ具現化させることは可能か。	
				③ 【協働】による解決の場合、町が関われる範囲は。	
		(2) 森林整備と支障木対応について	① 道路際の支障木に対する整備の実績と見直しは。	町長	
			② スクールバス路線等、優先すべき箇所は。		
			③ 電線等や獣害対策など交通以外にも効果が大きいため町主導で優先的に取り組むべきと思うが、町の考えは。		
		(3) 公共インフラ更新や次世代を見据えた体制強化について	① 建築関係における入札制度や運営の見直しは。	町長	
			② 公共施設(特に建築物)更新に対する組織横断的なチーム編成の必要性は。		
			③ 町職員に対する人事制度の見直し(多様化)は。		

質問順		第536回 令和6年3月定例会 一般質問通告一覧表			富士見町議会	
順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨		答弁者
3	10	西 明子	(1) 町のジェンダーギャップ解消に向けた取り組みとは	①	昨年度策定された「第6次富士見町男女共同参画計画」策定後の進捗状況は。	教育長
				②	「富士見町特定事業主行動計画」が策定されて以降、係長相当職以上の女性職員割合の推移は。また職員の給与の男女の賃金格差は。	町長
				③	役場庁内のジェンダーギャップ解消の今後の取り組みと課題は。	
			(2) 審議会・委員会のあり方について	①	県や近隣自治体では「審議会等の設置に関する指針」等が定められ、「女性委員の割合が4割以上になるよう努めること」と明記されている自治体もある。富士見町はどうか。	町長
				②	審議会・委員会の改選時等に活用することを目的に「女性人材リスト」等の登録者を募集している自治体もある。女性に限らず審議会・委員会の委員のなり手不足等の課題はあるか。	
				③	そもそも、審議会や委員会の存在を「知らなかった」という声も聞く。県や近隣自治体では「審議会等の設置に関する指針」等にて、原則公開とし、事前の開催告知等についても明記されているが町としての考えは。	
			(3) 防災における女性の役割について	①	内閣府男女共同参画局の防災・復興ガイドラインでは、「平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる」とあるが、町としての考えは。	町長
				②	現在町の防災会議の女性委員は2人、女性比率は約7%である。この構成になる理由は。今後、女性委員を増やすためにどこから取り組むか。	
				③	自治会長や自治会役員に占める女性の割合が圧倒的に少ない富士見町において、「防災・復興」に女性が参画できる仕組みの整備が急務である。町として1番に取り組むのは何か。	
4	3	矢島 尚	(1) 災害時の対応と消防団活動について	①	防災士の資格を有する方々の協議会等が地域防災では必要性を感じるがその考えは。	町長
				②	強固な防災で安全安心なまちには縦、横の組織体制が必要不可欠であるが、地震災害時には対策本部へ集まらない可能性もある。そのシミュレーションはできているか。	
				③	能登半島地震をうけ、災害時に上下水道が使えなくなるため、衛生面に特に課題があると聞く。町の上下水道も老朽化している箇所があるが、その対策は進んでいるか。	
				④	長野県は、全国の自治体で女性の防災係の職員が少ないワースト1位との報道があった。また当町にもいない。災害時には女性目線での対応が必要であるが、防災係に女性職員を配属する考えは。	
				⑤	消防団員の活動服が各分団の団員に1着しか貸与されていないが、2着は必要と思う。もう1着貸与できないか。また上着の防寒着の貸与はあるものの防寒用ズボンはないが貸与の考えは。	
				⑥	町には現在1分団～12分団までであるが、団員数が少ない分団は地区の活動もままならなくなる。今後維持できるのか。また統合する考えはあるか。	
				⑦	災害時における保育園、小学校、中学校それぞれの子供の安全対策は万全か。見直しや課題はないか。	
			(2) 新たな観光事業について	①	町長がハケ岳をもっとアピールし、観光事業に取り入れたいとの意向を示しているが、町長の想う今後のハケ岳構想とは何か。	町長

質問順

第536回 令和6年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
5	2	山口 肇	(1) 町の農業政策について	① 昨年、町として知事に要望した農業支援策のその後の状況は。	町長
				② 「畑地化促進事業」の要望書は、耕作者や耕作面積の何割程度提出されているか。	
				③ 畑地化を要望する農業者の現状をどのように捉え、どのような対応策を行おうとしているのか。	
				④ 水田の畑地化、耕作放棄地が増え、水路管理が難しくなっている現状がある。町としての対応策は。	
5	2	山口 肇	(2) 子どもの意見表明の機会や場づくりについて	① 令和6年度、子どもの意見表明の機会や場をつくる計画はあるか。	教育長
				② 「生徒指導提要」の改訂に伴い、小中学校での校則の公開や見直し等を含め、どのように進めようとしているか。	
5	2	山口 肇	(3) 子どもの医療費について	① 県の子どもの医療費無償化が中学3年生まで拡大する見込みである。それに伴う町への補助金のおよその金額は。	町長
				② この補助金を活用して、年齢を限定する等の工夫をして窓口負担ゼロを目指すことを考えているか。	
5	2	山口 肇	(4) 中学校橋について	① 町の中心部にある中学校橋のあり方について、防災上からも議論を重ねる必要があるのではないかと。	町長
6	7	名取 久仁春	(1) 防災訓練における区未加入者について	① 区への未加入者の現状は。地域ごとの概略は。	町長
				② 未加入者への避難訓練の通知方法とその内容は。	
6	7	名取 久仁春	(2) 農地維持活動支援交付金について	① これまでの実績はどうなっているか。	町長
				② 今後の方針は。	

質問順

第536回 令和6年3月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者		
7	4	三井 新成	(1) 地震対策について	① 町内の耐震対策を必要とする建物は把握しているか。	町長		
				② 所有者への耐震診断を促す周知をしているか。その方法は。			
				③ 東南海地震を想定しての対策はできているか。			
				④ 震災後の二次避難所のあり方を再検討する必要性があると思うが、再考する考えはあるか。			
				⑤ 避難所における食料、飲料水、トイレ、風呂等の準備とその対応はどのように考えているか。			
			(2) 農業の今後のあり方について	① 再基盤整備による農地集約と整備後の生産状況における事業評価は、目的を達成しているか。		町長	
				② 農地中間管理機構での取り扱い状況と、集約割合や収益状況は。			
				③ 農業法人の今後の推移は。期待できる候補となりえる法人はあるか。			
				④ 遊休農地が増えていくことが予想されるが、再基盤整備ができない土地についての活用をどのように考えるか。			
				⑤ 農地の集約について、買い上げ、転売、交換等、行政としてできることは。			
		(3) ポストコロナ時代の出生率を上げるための対策について	① 町内をはじめ日本国内や世界的に出生率が下がっているが、富士見町の今後をどう予測しているか。	町長			
			② 最近の5年間において、県内でも小布施町、生坂村、根羽村、青木村など、出生数が増加している町村があるが、その要因は。またそれらの自治体に学ぶところは。				
			③ 生産年齢人口を増やすことは、少子化対策にもつながり、ひいては出生数の増加にもなる。機運をあげる考えは。				
		8	1	織田 昭雄	(1) 水道料金及び下水道使用料の値上げと耐震化について	① 水道料金及び下水道使用料の算定に、少子高齢化に伴う人口減少が与える影響をどう分析するか。	町長
						② 水道料金の値上げに対して下水道使用料を据え置きにした理由は。いずれは値上げが必要ではないか。	
③ 若宮の第6水源膜ろ過方式浄水場整備事業の完了と稼働はいつからになるのか。また、住民にとってのメリットは。膜ろ過方式浄水場が稼働することにより廃止する施設はあるか。							
④ 水道の送・配水管や下水道管渠の耐震化はどこまで進んでいるか。							
(2) 暮らしの足を守る地域公共交通の計画について	① 昨年の実証運行より見えてきた問題点はあるか。また、その内容は。			町長			
	② 小中学生の通学、スクールバスとの兼ね合いをどのように考えるか。また、デマンドバスすずらん号は今まで通り運行を継続するのか。						
	③ 日中の高齢者向け通院、買い物のための運行計画はどのように考えているのか。詳細なプランがあれば伺いたい。						
	④ この事業を行う上で、必要な予算の概算額はどのくらいか。						
	⑤ コンパクトシティー構想や、リニア中央新幹線山梨県駅へのアクセス等の構想を視野に入れた計画となっているか。						

3月4日(月) 5名 1番～5番
5日(火) 3名 6番～8番